

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	総務部
部(局)長名	岡本 善則

【達成度について】

- A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 3	シティプロモーションの推進	全体の達成度 A 達成
目指すべき方向	市内外に吹田市のすばらしさを積極的に情報発信することで、都市イメージの向上をめざします。	

活動目標	具体的な取組実績
報道機関等への情報提供をこれまで以上に積極的に行い、市の重要な政策や様々な施策、行事などの情報発信に努めます。	本市イメージキャラクターのすいたんによるツイッターなどを通じて市の施策や行事など様々な情報を発信しました。また、日刊記者クラブ以外に「ぱど」や「千里朝日クラブ」などのタウン誌や情報紙、民放テレビ局などに市のイベント情報などを提供しました。
関係室課と連携し、市報やホームページなど既存の広報媒体を用い本市の魅力発信を行います。	関係室課から収集した市の重要政策や様々な施策、行事を市報の特集やピックアップのコーナーなどで取り上げたほか、本市ホームページ上の報道機関向け情報提供ページを更新しました。

達成目標	達成状況	達成度
多様な主体と連携し、シティプロモーションを推進します。	新聞や雑誌、テレビ、ラジオなどの報道機関と連携するとともに、SNSなどのインターネットを使用したシティプロモーションを推進しました。すいたんによるツイッターではフォロワー数が5877人（平成27年3月時点）から7298人（平成28年4月時点）に増加するなど、情報を広く発信することについて効果がありました。	A 達成
シティプロモーションを推進し、吹田ブランド発信力の強化を図ります。	市報において「都市魅力創造プロジェクト」や「子育てサロン」、「市立吹田サッカースタジアム」「防災」などを特集しました。また、ホームページ上の報道機関向け情報提供ページでは「千里丘北小学校の開校」や「市の天然記念物 千里緑地のヒメボタル」について掲載し年間で1万件を超えるアクセスがありました。	A 達成

総合評価・総括

平成25年度にシティプロモーション事業を立上げ、新たな経費をかけずに既存の広報媒体等を活用し市のPRを行ってきました。2年間の事業実績から効果的なシティプロモーション事業の推進には市をPRする方向性・方法等を構築する必要があるとの見解を得ていましたが、組織改正により平成28年度から新たに同事業を管轄する部署が組織されることから、平成27年度における事業実施については新たな事業の方向性・方法等の検討は行わず、平成26年度に実施した業務を継続しました。